

2025（令和7）年度

北海道観光学科

シラバス

2年生

札幌商工会議所付属専門学校

2年次

観光プロデュース	105		梅 村 匡 史	
プレゼンテーション	30		木 村 成 一	
プレゼンテーション演習	30		梅 村 匡 史	
北海道の食文化と土産品	45	○	金 子 由 美	食のトータルプロデュース企業経営
		○	佐々木 学	食のトータルプロデュース企業経営
観光情報の収集と発信	45	○	田 中 勲	旅行情報誌企画・編集・執筆担当
イベントと観光	30	○	角 田 貴 美	元札幌市議員（経済・国際・観光担当）
国際観光	30	○	中 根 宏 樹	(株)エゾシカ旅行社
		○	中 根 萌	(株)エゾシカ旅行社
フィールドワークⅡ	30	○	佐 藤 良 樹	元団体職員
インバウンドビジネス	30	○	中 根 宏 樹	(株)エゾシカ旅行社
		○	中 根 萌	(株)エゾシカ旅行社
観光マーケティングⅡ	15	○	佐 藤 良 樹	元団体職員
観光と暮らしⅡ	15	○	佐 藤 良 樹	元団体職員
サービス接遇Ⅱ	45	○	江 口 ちひろ	ビジネスマナー社員教育担当
サービス接遇Ⅲ	15	○	江 口 ちひろ	ビジネスマナー社員教育担当
日本の宿のおもてなし	45	○	徳 田 智恵子	元小売業・飲食業従業員
観光英語Ⅱ	75	○	David Wright	元日系企業海外駐在員
リテールマーケティング	105		岩 上 謙 二	
		○	徳 田 智恵子	元小売業・飲食業従業員
オフィスソフト演習Ⅱ	60	○	坂 元 夕 季	元企業事務職員
ビジネス文書	30	○	城 戸 ゆりか	元職業訓練校 指導教員
企業講話Ⅱ	15	○	戸 田 和 良	元会社員
コミュニケーションアワーⅡ	30	○	戸 田 和 良	元会社員

○・・・実務家教員

北海道観光学科 目標資格一覧 3 / 22 ページ

資格名	受験月	備考
実務技能検定協会 サービス接客検定準1級	7月	
日本商工会議所 リテールマーケティング検定3級	7月	
日本の宿おもてなし検定委員会 日本の宿おもてなし検定3級	9月	
実務技能検定協会 サービス接客検定準2級	11月	
日本添乗サービス協会主催 インバウンド検定初級	12月	
世界遺産アカデミー 世界遺産検定3級	12月	
日本情報処理検定協会 文書デザイン検定 3級以上	10月	

※検定名・受験する検定は変更になる場合があります。

※全員受験の時期は変更になる場合があります。

※取得できなかった場合は在学中に再受験することが原則です。

科目名	観光プロデュース		総授業時間	105	時間
			単位数	7	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	学習の総まとめとして、自身の興味のあるテーマや次年度実施予定の研修旅行の企画立案を実施する。				
学習到達目標	企画立案できる力を身につけ、その内容を魅力ある発信として他者に伝えるとともに、発信力を高められるようにする。				
成績評価方法	(前) ・ 出席状況・態度	100 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・	%		A	100 ~ 80
・	%	B		79 ~ 60	
・	%	C		59 ~ 50	
成績評価方法	(後) ・ 課題・レポート・発表	80 %	D 不可 49 ~		
	・ 授業参加態度・出席状況	20 %	目標検定	特になし	
・	%				
	・	%			
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす					
授業計画	4月 1週	オリエンテーション			
	2週~	コンテスト参加に関わるグループワーク			
	9月 1週	コンテスト参加作品検討			
	3週	・グループワーク			
	10月 1週	発表会			
	2週	研修旅行企画立案			
	3週	・グループワーク			
	3週	・発表			
	11月 1週	個人自由課題【2テーマ】			
	3週	テーマ決定			
12月 1週	プレゼンテーション作成				
3週	発表会				
使用テキスト教材等	北海道観光マスター検定公式テキスト（1年次配布済） じゃらんで旅する♪北海道 ほか				

科目名	プレゼンテーション		総授業時間	30	時間	
			単位数	2	単位	
			開講期間	前期		
科目の概要	<p>プレゼンテーションは、与えられた条件のもとで自らがもっている情報や提案を相手にわかりやすく正確に伝え、受け入れてもらうようにすることである。そのために適切な資料を作成し、自らの言葉で相手に適切に伝達することが必要です。プレゼンテーションの目的は大きく分けて、「情報を伝える」、「説明をする」、「説得をする」の3つに分類できます。本講義では、上記の3つの事項を効果的に進めるために必要な方法について学んでいきます。</p>					
学習到達目標	<p>PowerPointを活用し、プレゼンテーションを行う際に、聞き手が理解し満足できる適切な資料を作成するなど実務に直結するスキルを身につける</p>					
成績評価方法	(前)・課題提出	20%	評価基準	S 受講・実習による履修認定		
	・平常点(実習態度等)	60%		A 100 ~ 80		
・出席状況・その他	20%	B 79 ~ 60				
・	%	C 59 ~ 50				
(後)・	%	目標検定	D 不可 49 ~			
・	%		マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) PowerPoint 2019			
・	%					
・	%					
<p>※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす</p>						
授業計画	4月	1	オリエンテーション			
		2	プレゼンテーションの表示やオプションの変更 印刷の設定			
		3	スライドショーの設定・実行 配布資料、ノートマスターの変更			
		4	共同作業用のプレゼンテーション準備			
		5	問題演習			
		6	スライドの挿入と変更			
	5月	1	スライドの挿入と変更並べ替え、グループ化			
		2	問題演習			
		3	テキストの書式設定 リンクの挿入			
		4	図の挿入と書式設定 グラフィック要素の挿入と書式設定			
		5	スライド上の図形を並べ替えとグループ化			
		6	問題演習			
		7	表の挿入と書式設定 グラフの挿入と変更			
		8	SmartArtの挿入と書式変更 3Dモデルの挿入と変更			
	6月	1	メディアの挿入と管理			
		2	問題演習			
		3	画面の切り替えの適用と設定 アニメーションの設定			
		4	アニメーションと画面切り替えのタイミングの設定			
		5	問題演習			
		6・7	総合確認問題			
	7・8	模擬試験				
	7月	1~8	模擬試験			
使用テキスト等	よくわかるマスターMO S PowerPoint365&2019対策テキスト&問題集					

科目名	プレゼンテーション演習	総授業時間	30	時間
		単位数	2	単位
		開講期間	後期	
科目の概要	文献・資料等を適切にまとめ、資料とともに口頭で伝達できる。 自らのアイデアやグループでのアイデアを形にして他人に伝達できる力を身につけるとともに他者のプレゼンから自分の不足している部分を理解し修正する力を見つける			
学習到達目標	自らの考えを正しく伝達できるために、文章をまとめきちんとした資料作成をできるようにする。またオーラル表現を正しくできるようにする。			
成績評価方法	(前) ・ %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・ %		A 100 ~ 80	
成績評価方法	・ %	目標検定	B 79 ~ 60	
	(後) ・ 課題・レポート 50 %		C 59 ~ 50	
	・ (グループ評価・個人評価) %		D 不可 49 ~	
	・ 資料まとめ・中間発表 30 %		特になし	
	・ (個人評価) %			
・ 授業への参加・出席 20 %				
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	9月 1週 プレゼンテーションの目的			
	2週 演習1 (他己紹介)	・ 伝達することに重点を置きます。		
	5週 演習2 (資料の説明)	・ 説明することに重点を置きます。		
	10月 3週 演習3 (おすすめ商品の紹介)	・ 説得することに重点を置きます。		
	11月 1週 演習4 (CA学科紹介)	・ 3つの目的を複合的に実習します。		
	11月 4週 演習5 (総合演習)	・ まとめ		
使用テキスト等	授業内で配布・説明します。			

科目名	北海道の食文化と土産品		総授業時間	45	時間
			単位数	3	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	1. 圏域ならではの食・食文化を知り、食をテーマに地域と旅行者をつなぐ観光をプロモーションできる人材を目指す。 2. 新しい食観光を目指し「食」「農」「観光」「文化」「人」を結びつけ、北海道が持っている豊かで活力ある本物の魅力を作り上げていく力を養成する。 3. 土産物に関して旅行者が求めている物とのマッチングや新しい商品開発を考える力を学ぶとともに、デザインやコミュニケーションの手法を用いて、魅力的な商品開発やプロモーションについて学ぶ。				
学習到達目標	1. 食の現状と問題点、そして可能性をしっかりと把握した上で、新しい食観光のエンターテインメント性を考えていけるようにする。 2. 土産物を始めとする地域プレイヤーの存在を知り、北海道の食観光の強みと必要性を学び、食観光企画できる人材を目指す。				
成績評価方法	(前)・課題・レポート・テスト	80%	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・平常点(出席率)	20%		A	100
	・	%	B	79	～ 60
	・	%	C	59	～ 50
	(後)・課題・レポート・テスト	80%	D	不可	49 ～
	・平常点(出席率)	20%	目標検定	特になし	
	・	%			
	・	%	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす		
授業計画	4月	1	導入(授業に関して・自己紹介)・食とは、食の魅力とは(*美味しいとは *食の価値観ペルソナ解析*各国料理の形態)		
	5月	1	北海道の一次産業と六次化		
		2	レストランマナー ゲスト側とサービスのホスピタリティ		
	6月	1	つくる人と食べる人～観光と関係人口～		
		2	食のトレンド(トレンドは共有の楽しさを生む。レストラントレンド・ホテルトレンド・各地域でのトレンド・ホテルに関してはアフタヌーンティを中心に紅茶の基礎知識・ご当地グルメを検証する)		
	7月	1	食材の基礎知識		
		2	行事と食・季節の伝統食・デザイン思考とコミュニケーション		
	9月	1	食材の基礎知識 1		
		2	食材の基礎知識 2		
		3	食材の基礎知識 3 食材のトレンドと試食		
		4	食を紡ぐ人と旅行者を繋ぐ取り組み		
	10月	1	食体験と観光(*旅行者は何を求めているのか*体験の種類と効果*新しい体験作りを考える)		
		2	地域らしさを感じさせる提供方法(食材・パフォーマンス・雰囲気を考える)		
		3	地域の食体験をプロデュースする		
		4	魅力的な加工品作り(プロデュースする)		
		5	北海道土産の検証と求められる土産と経済性		
	11月	1	土産産業をプロデュースする		
		2	インバウンドが求める食・国内旅行者が求める食		
		3	ホテル朝食・ホテルアフタヌーンティを企画する		
		4	北海道の新世界飲料 ワイン・ウィスキー・人・ビールなど		
12月	1	トータルで自由課題として食をプロデュースする			
	2	食の魅力を新しい視点で検討する			
	3	一年のまとめ			
使用テキスト等	適宜、講師よりプリント配布				

科目名	観光情報の収集と発信		総授業時間	45	時間
			単位数	3	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	観光業界をはじめとした企業・団体の広報・宣伝担当者に必要な基礎知識の習得と、現代社会人として必須の情報リテラシーの習得を目標として、雑誌記事制作実習を含めた実践的な内容で講義を行う。				
学習到達目標	1. 企業の広報・宣伝担当者としての基礎の習得 2. 社会人として基本的な情報リテラシーの習得				
成績評価方法	(前)	・ なし	%	評価基準	S 受講・実習による履修認定
		・	%		A 100 ~ 80
	・	%	B 79 ~ 60		
	・	%	C 59 ~ 50		
	(後)	・ レポート (1回)	50 %	目標検定	D 不可 49 ~
		・ 授業中に出される課題	30 %		なし
		・ 授業への参加態度	20 %		
		・	%		
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4月	1	ウォーミングアップ		
		2	広告と広報の違い、目的とターゲット		
	5月	3	アピールポイントの見つけ方		
		4	メディアの特性を知る		
	6月	5	情報の並べ方		
		6	広告企画立案のまとめ		
	7月	7	人に何かを伝えるための文書の書き方1		
		8	記事制作実習のガイダンス		
	9月	9	記事制作実習～テーマの決定		
		10	記事制作実習～ネタ (取り上げるスポット) のピックアップ		
		11	記事制作実習～ラフの作成、実制作の開始		
	10月	12	外国人観光客への情報伝達について考える、記事制作実習		
		13	北海道観光の課題のその対策の検証1、記事制作実習		
		14	北海道観光の課題のその対策の検証2、記事制作実習		
		15	情報発信に関する法律上の問題、記事制作実習		
		16	ステルスマーケティングを考える、記事制作実習		
	11月	17	観光プロモーションと映像の関係を考える、記事制作実習		
			※レポート提出		
		18	炎上CMから見る情報発信、記事制作実習		
		19	時事問題について議論する		
		20	人に何かを伝えるための文書の書き方2		
	12月	21	メディアの構造について、情報の収集と発信総復習		
	22	記事制作実習成果物のプレゼンテーションと投票			
使用テキスト等 教材	じゃらんで旅する♪北海道2025～2026 (株式会社リクルート発行)				

科目名	イベントと観光	総授業時間	30	時間
		単位数	2	単位
		開講期間	通年	
科目の概要	イベントが地域にもたらす効果やイベントによるまちづくり、時代の変化に応じた新たなイベントのあり方と観光振興などについて学ぶ。			
学習到達目標	イベントによる北海道観光の活性化の手法を考えるための知識を身に付け、北海道の観光産業の振興に貢献できる知識を習得する。			
成績評価方法	(前) ・ 単元別テスト・課題・レポート	70 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定
	・ 平常点・授業態度	30 %		A 100 ~ 80
	・	%		B 79 ~ 60
	・	%		C 59 ~ 50
	(後) ・ 単元別テスト・課題・レポート	70 %	目標検定	D 不可 49 ~
	・ 平常点・授業態度	30 %		
	・	%		
	・	%		
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす			
授業計画	4月	MICEとは		
		世界のMICE		
		日本のMICE		
		札幌のMICE		
		イベント開催の意義と効果		
		イベントとまちづくり		
		イベントの事例		
		イベントと観光 総括		
使用テキスト等	講師が適宜配布するプリント			

科目名	国際観光		総授業時間	30	時間
			単位数	2	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	国内の世界遺産及び、海外の主要な世界遺産について学び、世界遺産に関する基礎的な知識を習得する。				
学習到達目標	日本における世界遺産に関する理解を深めるとともに、ヨーロッパ、アジアにおける世界遺産とそれらを取りまく宗教的、政治的な世界観について理解を深める。また、それらの成果として、世界遺産検定3級取得を目指す。				
成績評価方法	(前)・小テスト・課題提出	80 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・平常点、授業態度	20 %		A 100 ~ 80	
	・	%		B 79 ~ 60	
	・	%		C 59 ~ 50	
	(後)・小テスト・課題提出	80 %		D 不可 49 ~	
	・平常点、授業態度	20 %	目標検定	世界遺産アカデミー主催世界遺産検定3級	
	・	%			
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4月	世界遺産の基礎知識			
	5月	日本の世界遺産1			
	6月	日本の世界遺産2			
	7月	日本の世界遺産3			
	9月	テーマで見る世界遺産、世界の自然遺産			
	10月	人類の誕生と古代文明、アジア世界の形成と宗教			
	11月	ヨーロッパ中世とルネッサンス、大航海時代、 アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動 近代国家の成立と世界の近代化			
		模擬試験			
	12月	模擬試験			
	使用テキスト 教材等	帝国書院 旅に出たくなる地図 世界 世界遺産検定事務局 きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト			

科目名	フィールドワークⅡ		総授業時間	30	時間	
			単位数	2	単位	
			開講期間	後期		
科目の概要	フィールドワークや道外研修旅行を通じて、北海道の魅力の再発見をする。					
学習到達目標	北海道内や札幌市内及び近郊の観光地へ赴き、実際に体験することでさまざまな視点で考えることができる観光人材を目指す。					
成績評価方法	(前)・	%	評価基準	S 受講・実習による履修認定		
	・	%		A	100	～ 80
成績評価方法	・	%		B	79	～ 60
	・	%		C	59	～ 50
	(後)・事前・事後レポート	50 %	D 不可	49	～	
	・課題	30 %	目標検定			
・平常点・授業態度	20 %	特になし				
	・	%				
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす						
授業計画	9月	オリエンテーション				
		フィールドワーク①				
		※事前・事後レポート提出				
		※道外研修行程表作成				
	10月	道外研修				
		※事前・事後レポート提出				
	11月	フィールドワーク②				
		※事前・事後レポート提出				
	12月	フィールドワーク③				
		※事前・事後レポート提出				
	使用テキスト等	なし				

科目名	インバウンドビジネス		総授業時間	30	時間
			単位数	2	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	訪日外国人観光客の対応に当たる基本的な知識や接客マナーなど基本的な知識を学ぶ。				
学習到達目標	インバウンド業務に必要な知識・技能・実践力を習得する。				
成績評価方法	(前)・小テスト・課題提出	80 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・平常点、授業態度	20 %		A	100 ~ 80
・	%	B		79 ~ 60	
・	%	C		59 ~ 50	
成績評価方法	(後)・小テスト・課題提出	80 %	目標検定	D 不可 49 ~	
	・平常点、授業態度	20 %		TCSAインバウンド検定 初級取得を目指す。	
	・	%			
	・	%			
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす					
授業計画	4月	インバウンド（訪日外国人旅行）について			
	5月	インバウンドスタッフに求められるもの、接客マナーと身だしなみ			
	6月	訪日客の安全管理			
	7月	インバウンド業務に携わる者の知識と心構え			
	8月	訪日客への利便性改善の動き			
	9月	インバウンド業務の仕組み			
	10月	インバウンド業務の実務			
	11月	マネジメントとは			
	12月	試験対策			
使用テキスト等	日本添乗サービス協会 インバウンド業務入門				

科目名	観光マーケティングⅡ		総授業時間	15	時間
			単位数	1	単位
			開講期間	前期	
科目の概要	企業活動におけるマーケティングの重要性について解説する。 マーケティングの事例から今まで学んだ理論を確認する				
学習到達目標	1. 成功の事例、失敗の事例からマーケティング戦略を再考できる。 2. マーケティング理論が実際のビジネスでどう展開しているか理解できる。				
成績評価方法	(前) ・	%	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・	%		A	100
・	%	B		79	～ 60
・	%	C		59	～ 50
	(後) ・ 課題・レポート	70 %		D 不可	49 ～
	・ 平常点・授業態度	30 %	目標検定	特になし	
	・	%			
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4月	オリエンテーション			
		第9章 マーケティング的発想について			
		・プロモーションの種類			
		・プッシュ戦略、プル戦略			
	5月	第10章 ブランドについて			
		・ブランド構築のプロセス			
		・ブランド・イメージ			
		・ブランド・マーケティング			
		・国、地域による観光地ブランディング			
	6月	第11章 お客様との関係			
	・CRM				
	・リレーションシップマーケティング				
7月	第12章 マーケティングリサーチとは				
	第13章 まとめ				
	・持続的な発展を実現するためのマーケティングのあり方				
使用テキスト等	同友館 新版・観光マーケティング入門				

科目名	観光と暮らしⅡ		総授業時間	15	時間
			単位数	1	単位
			開講期間	前期	
科目の概要	観光学習における基礎知識の学習を進め、地域でその適用の方法を検討することを目的とする。				
学習到達目標	観光学習への関心を高め、観光に関わる様々な事象と観光に関わる様々な事業に応用するための、発展的な知識を得ることを目標とする。				
成績評価方法	(前)・	%	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・	%		A	100
・	%	B		79	～ 60
・	%	C		59	～ 50
	(後)・課題・レポート	70 %	D	不可	49 ～
	・平常点・授業態度	30 %	目標検定	特になし	
	・	%			
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4月	オリエンテーション			
		第8章 様々な観光ビジネス-宿泊産業			
		・宿泊産業の歴史と発展			
		・様々な宿泊施設の種類と動向			
		・ホテルの機能と業務			
		※課題提出			
		第9章 様々な観光ビジネス-交通運輸業			
		・観光と交通の関わり、交通と交通運輸業			
	5月	・観光交通ビジネスの特性、観光交通への新たな要請			
		※課題提出			
		第10章 様々な観光ビジネス-テーマパークなど			
		・テーマパーク、スキー場、展示、鑑賞施設、観光土産品			
		※課題提出			
6月	第11章 観光政策と観光行政				
	・観光政策と観光行政、国の観光政策と観光行政				
	・地方における観光政策と観光行政				
	※課題提出				
	第12章 観光のマーケティング				
7月	・観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」				
	※課題提出				
	第13章 旅の歴史とこれからの旅行				
	・旅の歴史、マスツーリズムからサステイナブル・ツーリズムへ				
	※課題提出				
使用テキスト等	JTB総合研究所 観光学基礎 ※1年次配布テキスト				

科目名	サービス接遇Ⅱ	総授業時間	45	時間
		単位数	3	単位
		開講期間	通年	
科目の概要	1年次で学んだサービス接遇の知識と理解をさらに深め、サービスに関わる仕事で活かせるように自分で考え行動できる力を養う。ロールプレイングを通して実務を想定した接客力を身につける。			
学習到達目標	サービス接遇についてより深く理解し、サービス接遇検定2級/準1級の取得を目指す。サービス接遇技能を磨き、満足度の高い応対を考えることで将来の仕事に備える。			
成績評価方法	(前) ・ 定期試験 60 % ・ 課題・レポート 20 % ・ 平常点・授業態度 20 % ・ % (後) ・ 定期試験 60 % ・ 課題・レポート 20 % ・ 平常点・授業態度 20 % ・ %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
			A 100 ~ 80	
			B 79 ~ 60	
			C 59 ~ 50	
			D 不可 49 ~	
		目標検定	サービス接遇検定準1級 サービス接遇検定2級	
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	オリエンテーション/サービス接遇検定に向けて			
	サービススタッフの資質 (必要とされる要件)			
	サービススタッフの資質 (従業要件)			
	専門知識 (サービス知識①、②)			
	専門知識 (従業知識)			
	一般知識 (社会常識・時事用語)			
	対人技能 (人間関係)			
	対人技能 (接遇知識)			
	対人技能 (接遇用語)			
	ロールプレイング練習			
	表情づくり・声の出し方			
	感じの良い挨拶			
	入退室			
	基本言動			
	接客応対			
面接練習				
使用テキスト教材等	サービス接遇検定2級公式テキスト/実問題集1-2級			

科目名	サービス接遇Ⅲ	総授業時間	15 時間	
		単位数	1 単位	
		開講期間	後期	
科目の概要	1年次で学んだサービス接遇の知識と理解をさらに深め、サービスに関わる仕事で活かせるように自分で考え行動できる力をつける。			
学習到達目標	サービス接遇についてより深く理解し、サービス接遇検定2級の取得を目指す。サービス接遇技能を磨き、満足度の高い応対を考えることで将来の仕事に備える。			
成績評価方法	(前)・	60 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定
	・	20 %		A 100 ~ 80
成績評価方法	・	20 %		B 79 ~ 60
	・	%		C 59 ~ 50
成績評価方法	(後)・ 定期試験	60 %	目標検定	D 不可 49 ~
	・ 課題・レポート	20 %		サービス接遇検定2級
成績評価方法	・ 平常点・授業態度	20 %	目標検定	サービス接遇検定2級
	・	%		
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	対人技能 (接遇者としての基本的な話し方①)			
	対人技能 (接遇者としての基本的な話し方②/服装)			
	実務技能 (問題処理)			
	実務技能 (環境整備)			
	実務技能 (金品管理)			
	実務技能 (金品搬送)			
	実務技能 (社交業務)			
	検定問題演習			
	ロールプレイング			
	・ 電話応対			
	・ コミュニケーションワーク			
使用テキスト等	サービス接遇検定2級公式テキスト/実問題集1-2級			

科目名	日本の宿おもてなし		総授業時間	45 時間
			単位数	3 単位
			開講期間	通年
科目の概要	お客様は何を求めて旅行に出かけ、何を求めて旅館にいらっしゃるのか、それに対して旅館が提供する商品とは何かについて学ぶ。また、おもてなし実務の前提となる心がまえ、身だしなみ、立ち振る舞い、言葉遣いやお客様がよくおたずねになる質問の準備とお話を伺う際を守るポイントについて学ぶ。			
学習到達目標	標準化された業務に対応でき、お客様から好感を得られるレベルに達するために心がまえ、身だしなみ、立ち振る舞い、言葉遣いなどの基本を修得した上で業務の標準的な流れをマスターすることを年頭におき、日本の宿おもてなし検定3級に合格する。			
成績評価方法	(前)・定期試験、小テスト	60 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定
	・課題・提出物	20 %		A 100 ~ 80
・平常点、その他	20 %	B 79 ~ 60		
・	%	C 59 ~ 50		
成績評価方法	(後)・検定試験、小テスト	60 %	目標検定	D 不可 49 ~
	・課題・提出物	20 %		日本の宿おもてなし検定3級
	・平常点、その他	20 %		
	・	%		
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす。検定を受験しない場合、不可とする。			
授業計画	4月 1	オリエンテーション・はじめに「おもてなしとは」おもてなし知識編 旅館がお客様にご提供するもの		
	2	おもてなしの心がまえ 18のポイント		
	3	立ち振る舞いのABC		
	4	言葉遣いのABC		
	5 2	※小テスト		
	3	お客様からよく聞かれること お客様対応のポイント・うっかりミスの予防策		
	4	おもてなし実務編 フロント係と客室係の基本的な役割・業務		
	6 1	お客様ご到着前の準備		
	2	お客様お出迎え・チェックインとお部屋へのご案内		
	4	お食事提供		
	5	滞在中のお客様への対応 お休み前のお支度		
	7 1	お布団上げ		
	2	ご朝食提供 清算・チェックアウト		
3	お見送り			
4	資料・定期試験			
5	模擬問題			
9	模擬問題・検定試験			
使用テキスト等	JTB総合研究所 日本の宿 おもてなし検定<基礎(3級)>公式テキスト			

科目名	観光英語Ⅱ		総授業時間	75	時間
			単位数	5	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	観光産業にとって必要不可欠な英語について学び、観光産業で活躍するための基礎的な英語を学びます。				
学習到達目標	1. 自分について話をできるような英語力を身に付けます。 2. 詳しく日常のテーマやアクティビティについて話せるようになる。 3. 国々ある観光専門用語の使い方や意味が解るようになる。				
成績評価方法	(前)	・ 課題・レポート	30%	評価基準	S 受講・実習による履修認定
		・ 平常点、授業態度	20%		A 100 ~ 80
	・ 定期テスト	50%	B 79 ~ 60		
	・	%	C 59 ~ 50		
	(後)	・ 課題・レポート	30%	目標検定	D 不可 49 ~
	・ 平常点、授業態度	20%	実用英語技能検定 (英検) ※受験級 は学生のレベルに応じて決定		
	・ 定期テスト	50%			
	・	%			
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす					
授業計画	4月	1	自己紹介		
		3	レベルチェック		
	5月	1	文法基礎		
			文法基礎		
		4	文法基礎		
	6月	1	道案内		
			道案内		
		4	道案内		
	7月	1	スケジュールについて		
			スケジュールについて		
		4	定期テスト		
	9月	1	自己紹介		
			文法基礎		
		4	文法基礎		
	10月	1	道案内・説明		
			道案内・説明		
	4	道案内・説明			
11月	1	時間・金額			
		時間・金額			
	4	時間・金額			
12月	1	観光シチュエーション			
	3	定期テスト			
使用テキスト 教材等	オンラインワークシート・プリント				

科目名	リテールマーケティング		総授業時間	105	時間				
			単位数	7	単位				
			開講期間	前期					
科目の概要	小売店舗運営の基本的なしくみを理解し、販売員としての基本的な知識を身につける								
学習到達目標	営業・販売の基礎知識の習得とともに、販売士3級の取得を目指す								
成績評価方法	(前)・	定期試験・検定試験	80	60	%	評価基準	S	受講・実習による履修認定	
	・	授業態度・出席率	20	20	%		A	100	～
	・				%	B	79	～	60
	・				%	C	59	～	50
	(後)・				%	D	不可	49	～
	・				%	目標検定	リテールマーケティング検定3級		
	・				%				
	・				%				
	・				%				
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす。検定を受験しない場合、不可とする。								
授業計画	4月	小売業の種類：流通の役割、商品の分類、商品の流通経路 現代の流通の特徴、店舗販売と無店舗販売、店舗販売の業態 チェーンオペレーション、商業集積、電子商取引等 ストアオペレーション：開店準備、日常業務、チェックアウト業務 接客マナー、クレーム対応、返品対応等							
	5月	マーチャндаイジング：マーチャндаイジングの基本 販売計画、商品管理、価格設定、物流、情報通信技術の活用 ストアオペレーション：包装、ディスプレイの基本的役割、ディスプレイの基本パターン、衣料品のディスプレイ、店舗照明と色彩							
	6月	マーケティング：マーケティングの基本、商品政策、価格政策、 立地政策、プロモーション政策、 販売経営管理：小売業の法規、商品に関する法規、事業許認可法規 環境問題と消費生活							
	7月	観光マーケティング、消費者行動、市場調査 販売経営管理：組織マネジメント、リーダーシップ論、計数管理 事業継続、盗難・衛生管理 リテールマーケティング検定対策：模擬問題、過去問題での答案練習							
使用テキスト等	カリアック 販売士ハンドブック（基礎編）								

科目名	オフィスソフト演習Ⅱ		総授業時間	60	時間
			単位数	4	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	業務における高度なExcel操作を求める場面で活用できる知識と技能を修得することを目指す。また、ビジネスや日常生活で使用する文書を効果的にデザインするための基本的な知識や技術を学ぶ。				
学習到達目標	Excelの高度な関数やデータ分析、グラフ作成、ピボットテーブルを使った集計など、実務に即した操作を身につける。また文書デザインにおける基礎的な原則を理解し、見やすく、分かりやすい文書作成を習得する。				
成績評価方法	(前)	Excel検定点数 (合格は100点とみなす)	50%	評価基準	S 受講・実習による履修認定
		模擬試験 (Excel)	30%		A 100 ~ 80
	出席率	20%	B 79 ~ 60		
		%	C 59 ~ 50		
	(後)	文書デザイン検定点数 (合格は100点とみなす)	50%	目標検定	D 不可 49 ~
		模擬試験 (文書デザイン)	30%		サーティファイ
		出席率	20%		Excel 3級
			%		文書デザイン検定 3級
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4月	オリエンテーション			
		関数の復習 (SUM・AVERAGE・MAX・MIN・COUNT・ROUND・RANK.EQ)			
		関数① (IF・AND・OR・NOT)			
		関数② (DATE・TODAY・NOW・WEEKDAY)			
	5月	関数③ (VLOOKUP・HLOOKUP・INDEX・CHOOSE)			
		グラフの復習			
		グラフの応用			
		ピボットテーブル・分析・マクロ			
	6月	3級Excel試験対策			
	7月	3級Excel試験対策 検定試験実施			
	9月	文書デザイン検定について			
		文書デザイン 問題の解き方			
		試験対策演習			
	10月	試験対策演習 検定試験実施			
11月	Excelの関数応用 (SUMIF・COUNTIFなど)				
12月	その他 Excelの関数				
使用テキスト教材等	30時間でマスター Word&Excel2021 Excel®表計算処理技能認定試験3級問題集【2021対応】				

科目名	ビジネス文書		総授業時間	30	時間
			単位数	2	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	ビジネス文書を中心とした実務能力を育成する。また、文書の取扱いや保管方法など基本的な知識を深める。				
学習到達目標	簡単な原稿からわかりやすいビジネス文書を作成できるようにする。試験範囲以外の機能を使い、効率的に事務作業ができるように実践的スキルを身に付ける。				
成績評価方法	(前)・定期試験	50%	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・提出物	30%		A	100
・出席率	20%	B		79	～ 60
・	%	C		59	～ 50
成績評価方法	(後)・	%	D 不可 49 ～		
	・	%	目標検定	なし	
	・	%			
	・	%			
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4月	オリエンテーション (シラバスの説明)			
		☐ビジネス文書の役割・種類 (ファイリングの方法など)			
	5月	効率よく伝わる文書をつくる			
		標記技能			
		(用字、用語、書式について)			
		表現技能			
		(正確な文章、わかりやすい文章、礼儀正しい文章について)			
	6月	社内文書の作成演習			
		(報告書、回覧文、案内文、企画書、議事録など)			
	7月	社外文書演習			
		(通知書、依頼書、挨拶状、案内状など)			
	9月	ビジネスメールの基本知識			
	(メールのマナー、社内社外メール)				
10月	差し込み文書の作成 (封筒の印刷)				
11月	段組みを活用した案内文				
12月	ビジネス文書のまとめ				
使用テキスト等	データもしくはプリントを配布				

科目名	コミュニケーション・アワーⅡ		総授業時間	30	時間
			単位数	2	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	本校の校訓である「自主共生」を体現し、学校生活を楽しく過ごす活動をする。また、就職活動に関する指導を実施し、卒業までに就職内定をできるようにする。				
学習到達目標	校訓の「自主共生」について理解し、自ら正しく判断できるようになり、クラス全員で協働することができるようになるようにします。また、札幌商工会議所と連携をはかり、各種事業への参画・セミナー受講を通して社会性を培う。				
成績評価方法	(前)・S 評定 (受講・実習による履修認定)	100 %	評価基準	⑤ 受講・実習による履修認定	
	・	%		A	100 ~ 80
	・	%	B	79 ~ 60	
	・	%	C	59 ~ 50	
	(後)・S 評定 (受講・実習による履修認定)	100 %	D	不可 49 ~	
	・	%	目標検定	なし	
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4 月	オリエンテーション			
	5・9 月	バスレクリエーションの実施			
	6 月	町内会との合同清掃活動			
	7・12月	校内清掃活動			
	通年	就職に関する指導 (求人票の紹介・就職状況の説明・就職面談)			
	〃	札幌商工会議所との連携 (Y E G 事業参画・会議所セミナー受講等)			
	〃	フィールドワークの企画・実施			
	〃	クラスレクリエーションの企画・実施			
	〃	学年集会・全校集会			
使用テキスト 教材等	なし				